

CAS-Net JAPAN 2017 年次大会 (in 愛媛大学) 参加報告 ～大学と学生の協力・協同の重要性を再認識

北大生協では、毎年11月に開催されるサステナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN Campus Sustainability Network in JAPAN 略称）年次大会に学生を派遣し、学生の活動事例の発表や大会に参加した他大学の学生や教職員の方と情報交換など交流をしています。2017年度の大会は、11月17日（金）に愛媛大学城北キャンパスで開催されました。学生2名と生協職員1名が参加して、福山健（工学部3年）さんが「北大キャンパスマスタープラン2017策定における学生参加の意義」について、「北大・自転車・清浄化プロジェクト」の取り組みを稲垣征哉（理学部3年）さんが事例発表しました。以下二人の感想です。

○現在の北大に必要だと痛感したこと ～ 福山 健

今回参加して現在の北大に私が必要だと痛感したことがあります。それは、学生と大学の協力関係の構築です。目覚ましい成果を上げている千葉大学や岩手大学など他の大学では、大学側と学生側が互いの立場を生かしながら、それぞれの目指しているものを得られるように一緒に取り組んでいます。今回の私の発表での取り組みも協力することはできましたが、まだ他の大学と比較するともう一歩といった感じです。今回での経験より次年度からさらに深く、大学と協力して様々なことに取り組んでいきたいと思います。



○他大学のみなさんとの交流を通して ～ 稲垣 征哉

昨年から北海道大学学務部学生支援課と北大生協学生組織委員会で協力して行ってきた「北大・自転車・清浄化プロジェクト」の活動について報告しました。そして、発表や他大学のみなさんとの交流を通して、改めてこのプロジェクトを来年以降も継続していきたいと思いました。また、より多くの北大関係者を巻き込み、みんなが安心・安全なキャンパスを作っていけるようなプロジェクトにしていきたいと思っています。



愛媛大学は歩行者空間をきっちり分けて、きれいで過ごしやすい空間を作っていました。

他大学の活動報告を聞いていると、北海道大学では行われていないと思われる地域住民や企業、自治体を含めたたくさんの人々と協力したおもしろい活動が多く行われていました。今まで環境問題について考えることはほとんどありませんでしたが、今回の参加をきっかけに環境問題をはじめとした社会問題について考えるようになりました。他大学のみなさんと交流する中で気づいたことを、今後の日々の生活や活動に活かしていきたいと思っています。

いじわるじいさん

小学校卒業式での袴着用が話題になっていると聞いて、スイスの町で見た小学校の卒業イベントを思い出した。誰でも行ける公民館のような会館のホール。7月、そこでは舞台から床まで幼稚園児、小学校全生徒、父母らがびっしり座り、ざわめいていた▼

校長が挨拶し、子供達の歌が始まると静かになった。学年毎に合唱する。園児も一緒に全員で歌い手を叩く。独唱の子がいれば弦楽器の独奏もある。低学年男子三人のバンド演奏では、奏者の迫力で会場は一気に熱気に包まれた。大音楽祭だ。ハイライトは後半、舞台中央に6年生と担任、校長が上がった時▼Tシャツに短パンやジーパンなど、装いも様々な卒業生が、堂々と、あるいは照れて笑い、一人ずつ担任の前に出て小さな記念品を贈られ、校長と握手をする。仕草に個性がにじみ出ている。最後は音も高らかにクラッカーが鳴り紙吹雪が散った▼国旗も卒業式の看板も、卒業証書もない。記念品は青や緑の美しい小石だそう。園児から大人まで、6年生は地域の人に囲まれて歌で送られ卒業した。こんな楽しい卒業式もあるのだ。日本の厳粛な式を見慣れた目には新鮮な驚きだった。（今日子）



キャンパス放浪記 in 函館 第15回

遠そうでもまた近い札幌

北海道大学大学院環境科学院 富安信

北海道にやってきてはや9年。今年の春には3度目の卒業式(博士)を迎える(たい)予定でいる。北大に入学してから博士まで、札幌では1年半、函館では7年半生活してきた。行き来した回数は数知れず(50回くらい)。移動手段もバス、自家用車、JR、時には飛行機と変わったが、札幌-函館の距離感も学部のことと今じゃ変わったように思う。今回はせっかく機会を頂いたので、時代と共に札幌-函館の距離感の移り変わりを振り返っていききたい。

① 高校生-受験時代

北海道自体があこがれの地だった。札幌も函館もどこにあるやら。隣町かと思っていた。

② 札幌在住時(学部1年-2年前期)

都会だけどゴミゴミしていない札幌にときめく。サークルの遠征で函館も来訪。バスで一眠りしただけではいけない距離だった。先輩から「流刑地」「島流し」とひどい噂を聞く。それでも水産学部に憧れていたの、いきたくないような気がしないような気持ちに。チャリで行けないか、などと無謀な旅を計画したりしなかったりする。



図1. 函館-札幌間 全国スケール
直線距離でも東北1県分くらいに見えて遠さが際立つ。
移動に慣れると噴火湾を横断したい気持ちでいっぱいになる。

③ 函館移行時(学部2年後期-4年)

思ったほど田舎じゃないのとラッキーピエロのメニューがかいことに驚く。友達の7割くらいが札幌にいたので遊びに行ったり、サークルの応援に行ったりする。主に高速バスで片道5時間。3年生くらいになると自家用車をどうにかして手に入れた者や札幌の部活を続けている猛者と一緒に帰ったりする。割り勘で片道4時間くらい。不思議とだんだん札幌が近いと思えてくるが、そんなことはないよとよくおじさんやおばさんに言われる。

④ 函館若齢院生時(修士1年-2年)

授業で頻りに札幌へ。進学した友達と飲んだり泊めてもらったり。遠いという意識が欠如。今から行くわー/帰るわーくらいのノリで4、5時間移動したりする。論文とか作業があるとバスで行くが、30分くらいで酔ってあきらめる。



図2. 見慣れた函館山からの景色
初めのうちは、このくびれが渡島半島のくびれだと大きな勘違いをすることになる。

⑤ 函館老齢院生時(博士1年-3年) ←今ここ

フィールドワークの研究室であることもあり、移動の概念に支障をきたす。釧路すら近いと思い始めるがそんなことはないぞと先輩や後輩にも心配される。友達もみな卒業し、札幌は経由地、実験地、出張地になる。

9年過ごして、札幌-函館の距離感は、行く気持ち的には近いものの、馴染みはなくなり東京のような場所になった。つまり、意外にも(?)距離に慣れるということだけど、一方で移り住まなかつたらこんなに遠い距離(約300km)を近いとは思うようにならなかつたらいいだろう。おかげで僕の中の移動の概念は支障をきたしたままで、これからも変な距離をフィールドワークにでかけそうである。そういう意味では感謝もしているが、キャンパスが小樽や石狩じゃないのはそういう思惑なのかとも思ったりする。

まとまらない文章だが、札幌-函館間は遠い。ただ関わり方によっては別にそうでもないですよ、という一石を投じてみたかったので今回こんな文を書かせて頂いた。現在函館・札幌在住の方、これからキャンパス移行の方の何かの参考になれば幸いです。

3年にわたりお楽しみいただいた「キャンパス放浪記in函館」ですが、今回の掲載で一休みさせていただきます。執筆していただいた皆さん本当にありがとうございました。
北大生協教職員委員会



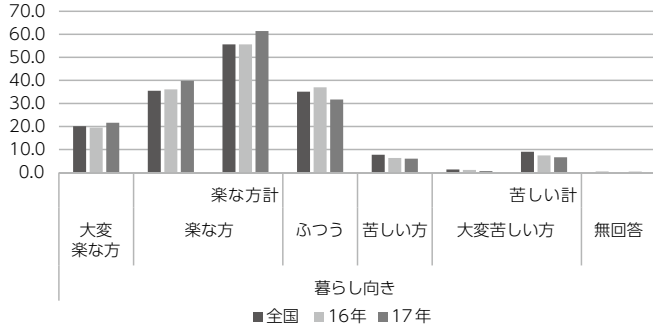
イマ時の北大学生



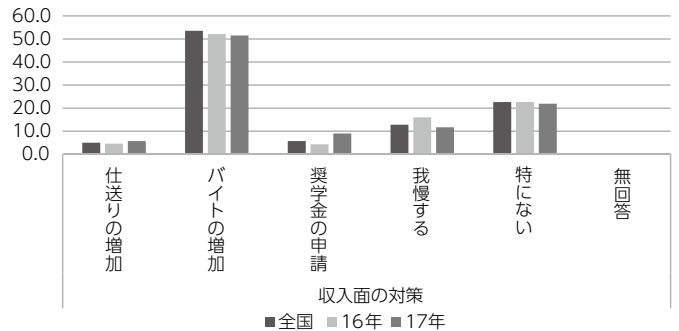
学生生活実態調査 (大学生協連) より

2017年10月に実施した学生生活実態調査 (全国大学生生活協同組合連合会) の北大学生の結果がまとまりましたので、その一部を報告します。誌面の都合上、今号では「暮らし向き」を中心にご報告いたします。

暮らし向き



収入面の対策



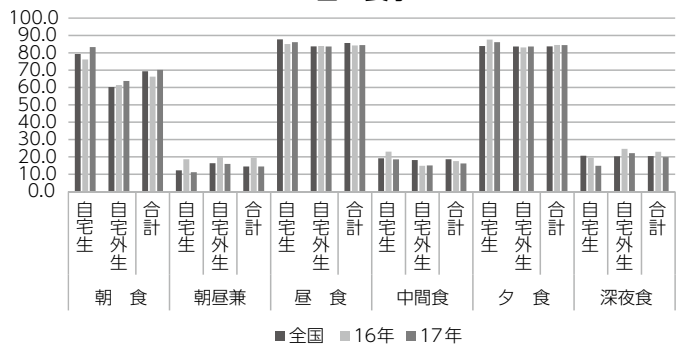
食事について

1日の食事を見てみると、朝食または朝昼兼用を摂らない方が、約16%おります。全国平均も同程度の数字なので、全国的な傾向だと思

アンケートの回答者数は、334名で、自宅生108名、寮生を含む自宅外生226名となっています。暮らし向きは2016年度と比較して、「楽なほう」と回答した方が約6%増加し、逆に「苦しいほう」と回答した方は0.8%減少しています。自宅生・自宅外生別に見ると「楽なほう」と回答した自宅生が64.8%、自宅外生が62.1%寮生が26.7%と若干自宅生が楽な暮らし向きであることがうかがえます。「苦しいほう」と回答した方は寮生が13.3%と一番高く、次いで自宅外生、自宅生の順になっています。寮生の暮らし向きは厳しいようです。

収入対策面を見ると、2016年と比較して「奨学金の申請」が4.7%増加しております。しかし、「奨学金を受給している」方は2016年とほぼ同数ですが、全国平均(32%)と比較して低くなっています。回答者に自宅外生が多いこともあり、収入面の対策としてはアルバイトの増加が一番高くなっています。学業に支障の無い範囲であれば良いのですが……。

1日の食事



われませす。特に自宅外生に「摂らない」方が多いようです。「作るのが面倒」「朝起きるのがつらい」といったところが原因でしょうか? 昼食・夕食は多くの方がしっかりと摂取しているようです。深夜食を摂取する方が約20%いるということは、みなさん夜遅くまで勉学・研究に専念しているためだと思われませす。朝食は一日の身体の準備を整えると言われていませす。朝食を欠食し、中間食を摂取することで、一日のリズムを整えることができなくなり、集中力を欠く、一日のリズムが乱れる、ということとは様々な論文・研究で報告されていませす。それほど朝食は重要だと言えらると思ひませす。北大

海外旅行・留学について

生協の北部食堂は朝8時から10時までモーニングセットを提供していませす。(授業期間中の平日)一人暮らしの方も賢く生協を利用して、健康的な大学生生活を送りませしませす。

「海外旅行・留学経験がない」と回答した方は約60%いませました。学年別に見てもすべての学年で「ない」と回答した方が50%を越えておりませす。「卒業までに海外旅行・留学に行きたい」と回答した方は60%を越えており、特に留学志望者が多いようませす。一方で、「行きたいと思ひない」と回答した方も約25%あり、全国平均(22%)と比較しても高い割合になっていませす。

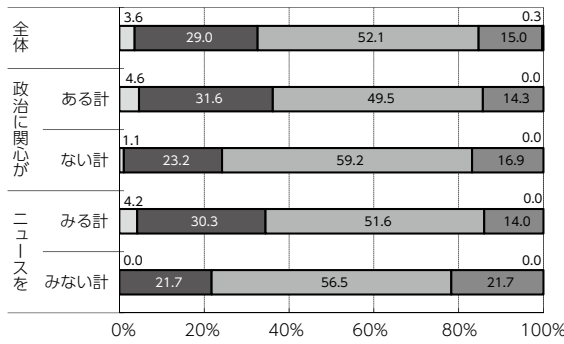
社会人になると、時間的にも中々海外旅行や留学を行なうのが難しくなりませす。

治安の問題や留学(海外旅行)費用の問題もあると思ひませす、国際化が叫ばれていませす、また、北大もスーパーグローバル化していく中で、ぜひ在学中に海外旅行や留学を、より多くの経験を積んでいませければ、と思ひませす。

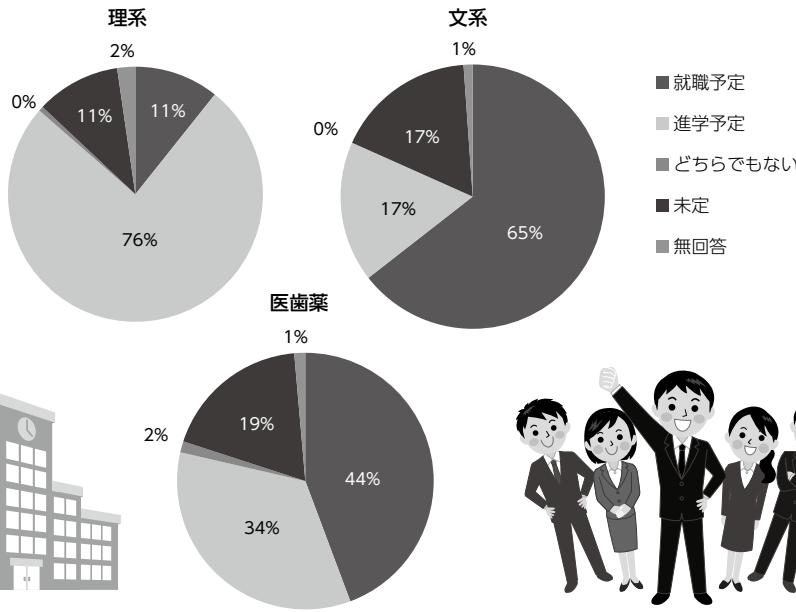


日本の未来は
明るいと思うか
(それぞれを100として)

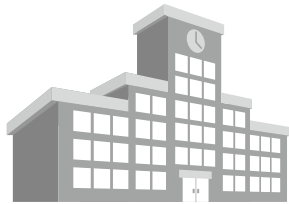
- とても思う
- まあ思う
- あまり思わない
- 全く思わない
- 無回答



政治への関心
続いて、学生の政治への関心を見たいと思います。「日本の未来は明るいと思うか」という問いに対し、「とても思う」「まあ思う」の計は、「政治に関心がある計」「ニュースをみる計」が、それぞれ「関心がない計」「みない計」よりも10%強多い結果となりました。このことより、政治に関心を持ち、ニュースを見ることで、日本の未来を漠然と悲観する割合が下がる様子がわかります。それでも、これからの日本を担っていく北大学生の7割が日本の未来を不安視していることが強く伝わってきます。



進路について
教職員の皆様でしたらごつくりとした予想がつくかもしれない「学部修了後の進路について」は、文系の65%が就職予定と回答しているのに対し、理系の76%は進学予定と回答しています。医歯薬は就職予定44%と進学予定34%となり、学部による差がはっきりとした結果となりました。



生協でのお買物のお支払いを口座引落としにてご利用の皆様へ — 今年のお支払いスケジュールをお知らせいたします —

平素は格別のお引立てに預り厚く御礼申し上げます。

お支払いにつきまして、ご指定の預金口座から振替させていただきますので、お手数でも口座引き落としの前日までに預金口座にご入金下さるようお願い申し上げます。

なお、毎月25日締で請求させていただいておりますが、12月はお正月休みの関係上誠に勝手ながら12月20日で締めさせていただきます。

それにとまなまして、12月21日以降のご利用代金につきましては1月分の請求（2月20日引落とし）とさせていただきますので何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも北大生協をご利用くださいますようお願い申し上げます。

2018年1月

北海道大学生協同組合 経理課
電話 011-726-9149 学内内線 2978

2018年のスケジュール

購入日	口座引き落とし日
2017年12/21 ~ 2018年1/25	2018年 2/20
2018年 1/26 ~ 2/23	3/20
2/24 ~ 3/23	4/20
3/24 ~ 4/20	5/21
4/21 ~ 5/25	6/20
5/26 ~ 6/25	7/20
6/26 ~ 7/25	8/20
7/26 ~ 8/24	9/20
8/25 ~ 9/25	10/22
9/26 ~ 10/25	11/20
10/26 ~ 11/22	12/20
11/23 ~ 12/20	2019年 1/21

手当て引きの引き落とし

購入日	口座引き落とし日
2017年 11/16 ~ 2018年6/15	2018年 7/20
2018年 6/16 ~ 2018年11/15	2018年 12/20

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



私たちは、心の中にいろいろなタブーを抱えて生きています。この場合のタブーというのは、自分自身でも簡単には触れないテーマのようなもので、意識すると、考えてしまうや辛い、という経験や問題は、誰にでもあるでしょう。私たちは、自分の気持ちや考えを全部知り尽くしているわけではなくて、どちらかという自分にとって心地の良いこと、都合の良いことは意識することができけれど、嫌なこと、不快なこと、気持ちが揺さぶられるようなことには、知らず知らずのうちに目をつぶっています。これには心のバランスを取り、心を安定させる働きがあるわけで、一面ではとても大切なことだと思えます。

自分にとって考えたり意識することが難しい個人的な体験というものもあるでしょう。しかし、多くの人に共通して触れづらい経験や気持ちというものもあります。たとえば羨望や妬み、相手を傷つけたいという気持ち、劣等感などはそうでしょう。面白いことにこれには文化差があって、たとえば日本人では怒りの感情、米国人では甘えの感情が、意識すること、表出することが難しいと言われます。社会の規範や価値観が内面化されているわけですね。あとは、性愛に関すること、自らがいざ死すべき存在であること。これらも私たちが正面から意識し、向かい合い、考えてゆくことの難しい、実存的とも言えるテーマだと思えます。

そういったテーマに触れずに済んでとくに差しさわりのないなら、それはそれで良いと思います。しかし、それに正面切った向き合い、自分自身の一部として意識や考えのなかに取り込むとどうなるか、それまでであったものが起こり得るとする経験的な知見があります。ただ、これは自ら進んで行うという場合にやまれぬ思いに駆り立てられて行わざるを得なくなるという場合が多いのではないかと、私は思います。

こころの健康を考える 50

心のタブーをゆるめること

これを一人で瞑想するとか、日記のような形で書き綴るとかして行うこともできるのではないのでしょうか。その時に問題になるのは、お互いの心の中にあるタブーですね。言いたくても口にできない、口にできないから自分でもよくわからない。だいたい、口にしづらいほどのことには、いろいろな情緒がまわりついでに自分でもわからない。聞く側としても、ずっと聞き続けるのはどこか苦しくて、知らず知らずのうちに話題をずらし、暗黙のうちにしてしまったり、聞かないよ、というサインを出してしまったり。不倫の恋は、良い例かもしれない。今で言う不倫は、近世日本では不義密通と呼ばれていました。当時の現在よりもはるかに厳しい刑罰体系の中では、死罪でした。でも、不義密通は後を絶たなかったようです。近世も終わりに近づくと、穏便に示談ということが多くなったと言いますが、ありふれたことだけに、口にするのが難しいこと。社会の規範は、ヒトは群れをなして生きてゆかないと生存そのものが難しくなるという生物学的な必要性にその源泉を持ち、集団の成立自体を支えるものでありましよう。それは内面化され、心のタブーともなります。けれども、現実のタブーはともかく、心のタブーの方は、多少なりともゆるめられれば、もう少し私たちはお互いに生きやすくなるのではないかと、思うことがあります。心の自由の問題、と言うと、ちよつとスマイル過ぎて、現実の苦しみが覆い隠されてしま

ほけんのお話

今回はドライブレコーダーのお話です。最近、交通事故等のニュースで、しばしばドライブレコーダー(以下、ドラレコ)の映像が流されるのを見られた方も多いいと思います。

このドラレコですが、搭載する方法は、市販のドラレコ、スマホにアプリでドラレコ機能を持たせる、自動車保険で付帯するドラレコの3つがあります。ドラレコは、事故の際の過失割合の確認、搭載したGPSによる場所の特定、当たり屋、当て逃げや盗難、あおり運転対策、運転診断などありますが、重要なことは事故時のその瞬間の対応に役立つかどうかの視点です。

事故が発生した時、けがの治療や病院への搬送が何よりも優先されます。街から離れていて連絡手段がない場合や、前部座席の両親が重傷で動きが取れず後部座席のお子さんが残されている場合など、緊迫した不安な状況下、自動車保険に付帯したドラレコは、事故直後、保険会社とつながり支援してくれるのです。

保険会社が提供するドラレコは、東京海上日動火災の「ドライブレコーダー」の2つですが、上記のドラレコの機能に加えて、事故発生で強い衝撃があった場合、東京海上日動は、保険会社に自動で通報し、端末で通話が可能、事故映像を自動的に記録・送信します。損保ジャパン日本興亜は、事故発生時の保険会社への自動通報・手動通報に加えてALS OKが現場にかけつけます。2社の自動車保険に付帯するドラレコは、取り付けできない自動車がありますが、まずは話だけでも代理店に聞いてみましょう。それぞれ月額6200円、月額8500円で提供しています。

事故時の対応に不安のある方、免許取りたての方、運転に自信がある方も、もらい事故だってあります。家族を守るため、事故時の対応を的確に行うために自動車保険付帯のドラレコをぜひ考えてみてはいかがでしょうか。



文化財へ 行こう

第5回

～北海道大学農学部附属第二農場～

北海道大学客員准教授・非常勤講師

角哲



コーン・バーン(右)と収穫室及び脱粒室(左)

中央道路を北に進むと、突き当り一帯が豊かな緑に囲まれていることに気づきます。今回は、札幌農学校にまで遡ることができ、国の重要文化財でもある第二農場をみていきます。

附属農場の設置と移転

元々、第二農場は正門の北側、現在北10条にある地球環境科学院一帯にありました。また、サクシユコト二川を挟んだ第二農場の西には第一農場があり、札幌のキャンパス外や栗山、七飯、富良野には第三～八農場もありました。

附属図書館の玄関を入ると2階であることからわかるように、サクシユコト二川沿いの敷地は起伏に富んでいます。この地形をうまく活かして模範家畜房や玉蜀黍庫、豚舎、鶏



煉瓦の床、鑄鉄の柱のある牧牛舎の南側通路

舎、事務所、官舎など農場運営に必要な施設群が1895年頃までに設置されました。しかし、1899年に現在の「時計台」(旧札幌農学校演舞場、1878)一帯にあったキャンパスの現在地への移転が決定し、第一農場が1901～03年に、1907年の東北帝国大学農科大学設置によるキャンパス拡大で、1909～12年に第二農場が放牧場だった現在地に移転しました。

移転後の第二農場と施設

移転の際、最初に新築されたのは1909年の牧牛舎で、1910年に事務所と秤量所、釜場、1911年に収穫室及び脱粒室と製乳所が設けられ現存し、重要文化財に指定されています。ほかに、氷室や官舎、豚

舎、肥料小屋などもありました。しかし、建物ごと移転、再利用したものもあります。それが1910年の産室・追込所及び耕馬舎(1877)と種牛舎(1878)、翌年の穀物庫(1877)です。産室・追込所及び耕馬舎は、元の「モデル・バーン」(模範家畜房)で、この名前でピンとくる人は多いかも知れません。この建築はクラーク先生が構想し、後任のウィラー先生が設計しました。但し、敷地は平坦のため、移転前にあった地下や馬車ごと建物内にアクセスする斜路は撤去され、代わりに滑車のついた木製レールを設けたほか、牛頭飾りや先尖アーチの装飾を付加しました。この装飾はモデル・バーンから分離した種牛舎や新築の施設にも確認できます。つまり、移転前は装飾のない質素な建築でした。

また、穀物庫は元の「コーン・バーン」で、その名の通りトウモロコシ小屋、収穫したコーンの乾燥に用います。敷地が湿地であることやネズミなどをさけるため高床とし、南を除く1階の壁をスノコにして通風を確保する工夫をしています。このほか、各々の建物に特徴がありますが、事務所の北と西には放牧した牛を監視するための大きな窓が設けられましたし、火を使って家畜の餌を煮る釜場は耐火性のある石造、断熱性が求められる製乳所は煉瓦造で、内部は清潔感を保つため壁と天井を白く塗るなど、機能性を求めたことが共通しています。



チーズやバターを製造した製乳所

近代農業のモデルとしての第二農場

ところで、モデル・バーンの何が「モデル」なのでしょう。それは、北海道、ひいては日本の近代農業のモデルで、実際、官営の真駒内種畜場、七重勧業試験場、東京農業試験場第三官園家畜房の参考になったといえます。建築の構造も見逃せず、アメリカ西部開拓期、素人

でも組み立てられるよう考案されたバルーン・フレーム構法が採用されています。日本の伝統的な建物は、運動会などで用いられるテントのように骨組みのみで構成されますが、この構法は規格化された柱や板を組み合わせて「面」で力を支える形式で、現在のツーバイフォー構法の原型ともいわれます。また、移転後に新築された牧牛舎は真ん中に通路を設け、牛はその通路に頭を向けて餌槽の飼料を食べます。南北で柱の材料や床の高さと仕上げが異なり、実験的な飼育を試みたことも伺えますが、現在普及している一般的な方法といえるのではないのでしょうか。

とはいえ、現代の私たちが普通とと思っている標準的なものにも始まりがあるはずで、その「当たり前」の農業の始まりを垣間見られるのが第二農場なのです。



最古の建築であるモデル・バーン全景

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■共済活動 凍結対策

冬の生活には様々なリスクが潜んでいますが、今回は凍結に焦点を当てた活動を行いました。北大生に、北大付近で自分がこらんだ場所にシールを貼ってもらい、危険な場所を発見すると共にボードをそのまま掲示することで、通りすがりの北大生にも認知してもらいました。また、滑り止めの砂利を配布し、実際に転んだ場所に蒔いてもらい、路面凍結に対処してもらいました。集計期間終了後には事後情報として北大生が転んだ場所の傾向を紹介し、受験生や、春休みも北大構内を歩く人に、転ばないための意識づけをしてもらいます。

■受験生歓迎活動

北大一般受験に合わせ、受験生の不安解消を目的に受験生歓迎企画を行います。今年も、毎年好評の相談企画「北大生と話そう」をはじめとして、受験生が参加しやすい企画になるように活動していきます。ほかにも、LINE@といったSNSを使った呼びかけや受験生応援冊子「いな蔵」、北大構内の「道案内」などの企画も予定しています。受験生歓迎活動当日は、学生委員だけでなく、多くの北大生にも当日スタッフとして協力してもらいながら活動します。

■学生委員会公式HP

<http://hokudai.web.fc2.com/>

■学生委員会公式Twitter

@HU_COOP_GICS

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

院生委員会

■院生による書評誌

「ほんでないかい2017」発行にむけ編集作業取組中!

ただいま、「ほんでないかい2017」の編集作業を行っています。当初、12月末発行を目指していましたが、諸事情により、2018年1月末ころ発行になります。遅れた分、内容はご期待ください! HTBマスコットキャラクターonちゃんのインタビューも掲載! もちろん、おすすめ本もしっかり紹介されていますので、読み応え豊富な内容になっています。



■新入院生のための情報冊子「いんでないかい2018」発行に向けて

毎年、新入院生にお送りしている「いんでないかい2018」発行に向けて動き出しました。今回も、新入院生が、院生生活をスムーズに始められるような冊子にしていきたいと思っております。

留学生委員会

■留学生パンフレット2018年度版編集作業進行中!

大変ご好評を頂いた2017年度版をベースに、更に在校留学生の意見や要望の聞き取りを活かしながら内容の見直しと新たな内容を検討しています。言語は、英語・中国語・ふりがな付の日本語で、各国の留学生、今回は特に来札間もない留学生に伝わりやすいように表現の工夫をしながら編集作業を進めています。

■日本のお正月料理を楽しみました

昨年末も委員から要望を出され、日本のお正月料理数品をハラルで用意しました。日本独特の調味料の酒や味噌を使わず醤油は原料を吟味し、昆布・干椎茸・削り節で旨みの濃いだしをひき、食材の種類を多く組み合わせることで彩り良く仕上げました。帰国や旅行をせず年末年始を部屋で過ごした留学生委員とオプザーバーはこの日をとて楽しんでいました。パンフレットの入稿が2日後だったこともあり、交流は又の機会にして、食後は編集作業を頑張りました。



教職員委員会

■教職員総代会議・学内7ヶ所

8月を除く毎月1回、昼休みを利用して開催しています。生協の営業報告の後、教職員の皆様に利用者の立場から色々なご意見をうかがっています。

12月は12日、14日、1月は16日、18日に開催しました。

■教職員委員会・毎月1回、18時

19時半に開催しています。総代会議で出された組合員の声についての検討、きぼうの虹の編集・発行について討議しています。12月は15日、1月は19日に開催しました。

■「きぼうの虹」…この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。

今号には、全国大学生協連合会で毎年行っている、「学生生活実態調査」の結果を一部紹介しています。詳細報告は別の媒体で公開されますので、興味のある方はご覧ください。また、長い間お楽しみいただいた「キャンパス放浪記in函館」は、今回の掲載でいったん終了させていただきます。次号からは新たな連載を計画しています。

【編集後記】

きぼうの虹374号をお届けします。今年の冬はなんだか変です。早々と根雪になったと思いきや一月中旬に雨が降るなど、雪に合わせて生活をする北国の人間は調子が狂ってしまいますね。